

エネルギー省、次世代スーパーコンピュータ開発に
総額約 4 億 2,500 万ドルを助成 (11 月 14 日)

エネルギー省 (Department of Energy : DOE) は 11 月 14 日、科学研究における米国のリーダーシップを強化し、米国経済・国家安全保障を促進することを目的として、次世代エクサ・フロップス級の処理速度のコンピュータ導入に向けて、総額約 4 億 2,500 万ドルの高性能コンピューティング (High Performance Computing : HPC) 助成を 2 件行うことを発表した。

1 件目は、DOE 傘下のオークリッジ国立研究所 (Oak Ridge National Laboratory : ORNL、テネシー州) に「サミット (Summit)」、ローレンス・リバモア国立研究所 (Lawrence Livermore National Laboratory : LLNL、カリフォルニア州) に「シエラ (Sierra)」の 2 台の最先端スーパーコンピュータを設置する「オークリッジ・アルゴンヌ・ローレンス・リバモア共同 (Collaboration of Oak Ridge, Argonne, and Lawrence Livermore : CORAL)」事業で、総額 3 億 2,500 万ドルが、IBM 社、NVIDIA 社、及びメラノックス社 (Mellanox) に支給される。

2 件目は、DOE 科学局 (Office of Science) と米国核安全保障局 (National Nuclear Security Administration : NNSA) による「ファストフォワード 2 (FastForward 2)」事業で、AMD 社、クレイ社 (Cray)、IBM 社、インテル社 (Intel)、及び NVIDIA 社に約 1 億ドルが支給され、手の届きやすい価格でエネルギー効率の良い最新コンピュータによる研究開発を可能とする、次世代コンピュータ技術の開発が行われることになる

Department of Energy, Department of Energy Awards \$425 Million for Next Generation Supercomputing Technologies

<http://www.energy.gov/articles/department-energy-awards-425-million-next-generation-supercomputing-technologies>